

第16回 奄美を描く美術展



第16回 奄美を描く美術展大賞

台風のあと

F15 水彩

高山 法雄

(熊本県)

泥染めをしている人物を見事に描ききっており、画面から人物の凜とした生き方が伝わってくる。構図のおもしろみ、高い表現力によって、自然や周りの空気感、風を感じる作品である。

本 展 会 期：平成29年10月22日(日)～11月19日(日)

《11月1日(水)・11月15日(水)休館日》

入場無料

開 館：午前9時～午後6時（最終日、午後4時まで）

会 場：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館企画展示室

巡回展 会 期：平成29年12月3日(日)～12月10日(日)

入場無料

開 館：午前9時～午後6時（最終日、午後4時まで）

会 場：伊仙町中央公民館



ダチュラのメロディー F15 アクリル

池田 三樹子（奄美市）

主題となる花が過不足なくリズムカルに構成されており、豊かな色合いから、植物のもつ生命感や輝き、自然とのふれ合いの濃さを感じる作品である。

優秀賞



パパイヤ F15 水彩

山田 望（奄美市）

パパイヤというモチーフをじっくり観察し、細部まで神経を行き届かせて描いている。枝の重なりなどの構成のおもしろさや水彩絵の具のよさを存分に発揮した作品である。

優 秀 賞



奄美の森 F15 油彩
渡 洋子（奄美市）

画面中央の樹木や画面手前のハマユウの表現など、素直に表現する姿勢が感じられる。南国奄美の森がもつ生命力が画面全体からひたひたと伝わってくる作品である。

優 秀 賞



絢のメロディー ii F15 油彩
瀧田 秀子（奄美市）

大島絢の模様とパラソルによって大胆に画面構成がされている点におもしろさを感じる。また、色や配色にインパクトとハーモニーを感じる作品である。

優 秀 賞



秋名の杜に想う F15 アクリル
岡山 良治（龍郷町）

独創的な画面で、明暗の表現の中に工夫が見られる。作者の夢や想いなど、イメージとしてとらえたものを伸びやかに展開しており、不思議な魅力を発している作品である。

優 秀 賞



野いちご F15 水彩
屋 幸子（奄美市）

濃密な植物の織りなす世界の一瞬を画面に描くことに成功している。野いちごや花、葉の重なりなど細部までじっくり見つめ、自然の大きなエネルギーも描けている作品である。

佳作・奄美の海賞



奄美海浜で鮮魚作業 F10 油彩

森 正志 (鹿児島市)

海、山、空の色や表現に工夫がみられる。漁港を思わせる画面からは、漁業にかかわる人々の生活感が伝わってくる実直な作品である。

佳作・奄美の空賞



森に生きる F15 油彩

今村 富枝 (奄美市)

モチーフになった植物一つ一つをしっかりと観察して描けている。特に、クワズイモの葉や実などが織りなす世界がよく描けている作品である。

佳作・奄美の杜賞



生き抜く F15 油彩

中野 長子 (奄美市)

対象物のもつエネルギーを、木の表皮の表現や画面構成を工夫することで表現しようとする作者の姿勢が伝わってくる。じっくり描き込まれた樹の表現が魅力的な作品である。

ヤング賞



回帰 F15 油彩

赤崎 祐斗 (伊仙町)

作者の心の中に潜む想いや内面的な衝動、焦燥感などが伝わってくる作品である。造形化する大変さに挑戦する作者の姿勢が伝わってくる作品である。

シルバー賞



珊瑚と愉快的仲間 S15 日本画

重村 敏光 (奄美市)

魚や貝などが楽しげに描かれている。南国の豊かな海の世界を画面構成の工夫や、描画材を自在に伸びやかに使うことで活写している作品である。

【審査総評】

油彩や水彩画など、表現方法は異なる作品群ではあるが、自然との対話を造形化していると感じる良作が多かった。少しオーバーに感じられるかもしれないが、審査を通して、人間の未来に対して、安らぎを感じるほど、絵画のあり方を改めて考えさせられる機会となった。これは、作品制作において、軽々しいアイデアとかではなく、圧倒的な自然との対話の濃度、実直で素直な姿勢によって絵画が誕生していることへの驚きである。今、全体として失われている自然との対話が、奄美の地で誕生していることに深い感動を覚えた。

小品ではあるが、自然と人間との関係が感じられる、作者の思いの丈を表現した多くの作品が出品されている本展覧会の今後の発展が楽しみである。

審査員長

甲田 洋二 (画家 元武蔵野美術大学学長)

入 選 作 品 （ 賞 候 補 の 作 品 (※印)は、巡回展でも展示します。）

作 品 名	大きさ	種 類	氏 名	住 所	作 品 名	大きさ	種 類	氏 名	住 所
ボウキョウワ 望郷～我が思い	F8	水彩	平 輝美	福岡県	カミウシサネクマゴウ 神の牛(実熊号)	F15	日本画	前田 正樹	神奈川県
アマミヨル 奄美の夜	39×54	切り絵	横山 眞爲子	熊本県	トメイジンムライチバン タコ取り名人村1番	F15	油彩	福島 秀實	大和村
シマヘチゴツ 島の八月	F15	アクリル	元井 晴美	兵庫県	アマミウミ 奄美の海	F10	紙	崎長 史	千葉県
ケイ 景	P15	七宝	高塚 ヒサノ	鹿児島市	ササコロ しらゆりの咲く頃 ※	F8	日本画	上田 泰徳	東京都
ソラ アダンの空	F15	油彩	yoshi	神奈川県	ソウダク 遭遇	F15	油彩	海江田 宏	指宿市
ウミムナナ 海へと群れ成すサトベラ	F15	アクリル	佐藤 二三男	和泊町	ナツマ あの夏で待っている ※	F15	アクリル	中野 誠	南さつま市
ギョフ 魚婦 ※	F15	油彩	南 弘子	与論町	ゲンセイ 群生	F15	油彩	牧野 ハツエ	伊仙町
オオタケノコ 落武者達の滅島(西暦1205年のエピソード)	F15	水彩	進 芳男	奄美市	ゼ ムシロ瀬	F15	油彩	牧野 光雄	伊仙町
アラシコ 嵐を越えて	F15	油彩	永見 良子	大阪府	フィボナッチの森 Fibonacci whisper	48×47	ミクストメディア	中田 久雄	奄美市
ハマ まどろむ浜	F15	油彩	俊 悦治	千葉県	コモビコミチ 木洩れ日の小道 ※	F15	油彩	藤山 光通	奄美市
アマミトキ 奄美の刻	P15	油彩	寛 文雄	伊仙町	ミサネカサリ あやまる岬(笠利)	F15	油彩	岩元 美樹	奄美市
ナツハマベ 夏の浜辺	F15	水彩	松田 和子	岡山県	アマミオオシマシマウタ 奄美大島 島唄	F15	水彩	原崎 健次	熊本県
かげろ・う	小全紙	墨彩画	前島 尚子	大阪府	スエヒロホンドウリメイテンガイ 末広本通名店街 ※	F10	油彩	平井 泰輔	奄美市
ヒカリキオク 光の記憶 ※	F8	アクリル 木製パネル	Tako★MASARU	神奈川県	ナイト Night ※	F8	アクリル画 エアブラシ	坂本 千春	群馬県
アマミホシゾラ 奄美の星空	M12	色鉛筆画	東 文代	鹿児島市	ジュッコウミオクリュウゼツラン 出航を見送る龍舌蘭	F15	油彩	玉城 邦子	喜界町
ナツヒルサガリ 夏の昼下	F8	水彩	山田 弘美	鹿児島市	ヒルサガキ 昼下りのゆなの木 ※	F15	油彩	吉嶺 美智子	喜界町
オ 古いゆくがジュマル ※	F15	油彩	喜山 弘二	与論町	ロウジョ 老女とつるべ	F15	鉛筆画	坂井 敬子	喜界町
アマミイ 奄美に生きて	F10	油彩	原田 美奈代	与論町	アマミ 奄美・ハートロック	P15	日本画	永井 浩	愛知県
バショウ 1	F15	アクリル	満 英良	奄美市	ゴクラクチョウカ 極楽鳥花 ※	F15	水彩	丸山 良二郎	鹿児島市
アマミシゼンヤツ 奄美、自然への誘い	S15	水彩	安原 憲昭	奄美市	ハマユウ HAMAYU ※	F15	油彩	平 芳子	奄美市
ホリデーワン Holiday I	F15	油彩	田河 美紀子	奄美市	イサンタカグラ しまの遺産「高倉」	F15	油彩	恵 スマ	奄美市
ワタシアマミ 私の奄美	F10	油彩	澤 光代	龍郷町	アマミウミモノガタリ 奄美の海物語	F8	油彩	要 龍子	奄美市
アマミオモ 奄美への想い	F10	油彩	麓 真理子	奄美市	ウリン 雨林	F15	油彩	上野 圭子	奄美市
ワタシシュウワク 私の集落	F15	油彩	清 勝人	奄美市	シマス 島が好き	63×47	水彩	源五郎 光	龍郷町
ハネヤス 羽休め	F15	油彩	小谷 千晶	喜界町	ヘダモリ 平田の森 ※	F15	油彩 テンペラ	山口 明日香	宇検村